

地域漁業復興プロジェクト進捗状況 (H25年11月1日現在)

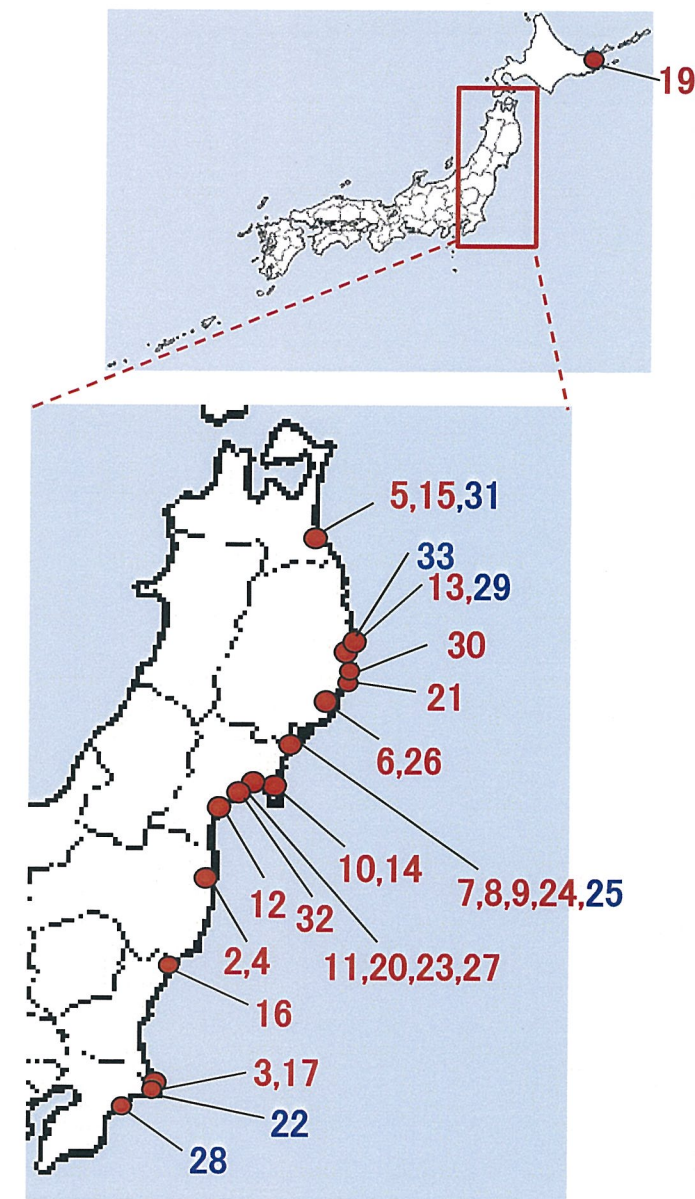
【個別計画認定状況】(計31件)

- 2 小名浜①(大中まき): 船団縮小(2ヶ統8隻→2ヶ統4隻)、漁獲物の高鮮度維持【H24.6～新船導入型】
- 3 波崎(大中まき): 船団縮小(4→3隻)、生産コストの削減【H24.4～H25.3 新船導入型】
- 4 小名浜②(大中まき): 船団縮小(4→3隻)、コンテナバックの導入【H24.6～新船導入型】
- 5 八戸(大中まき): 船団縮小(4→3隻)、船凍品の開発【H24.5～新船導入型】
- 6 大船渡(さんま): コスト削減、高付加価値【H24.10～新船導入型】
- 7 気仙沼(さんま): 兼業型・改革型漁船の導入、安全性確保、高付加価値化【H24.9～新船導入型】
- 8 気仙沼(近海まぐろ): 集団操業、水揚量の均衡化、ペア操業による省エネ等【H24.4～既存船活用型】
- 9 遠洋まぐろ延縄(気仙沼): 船上ロイン加工、省エネ【H24.5～既存船活用型】
- 10 遠洋かつお一本釣り(女川②): 一本釣りときま網漁業によるハイブリッド化【H24.4～新船導入型】
- 11 石巻(大中まき): 船団縮小(5→2隻)、省エネ・省コスト、高品質化【H25.2～新船導入型】
- 12 亘理(小型底びき網): 小底と敷網漁業との兼業化【H25.1～新船導入型】
- 13 宮古・釜石(沖合底びき網): 省エネ・省人・省力化、高鮮度出荷等【H24.7～新船導入型】
- 14 遠洋まぐろ延縄(女川①): 省エネ、低燃費操業、新たな拠点整備【H25.1～新船導入型】
- 15 八戸(遠洋底びき網): 欧州型漁船の導入、新漁場の利用等【H25.8～新船導入型】
- 16 大津(大中まき): 船団縮小(3→2隻)、省エネ・省コスト【H25.4～新船導入型】
- 17 波崎(大中まき): 船団縮小(4→3隻)、新型揚網機の導入【H25.6～新船導入型】
- 19 歯舞(さんま棒受網): LED化による燃油消費量の削減、さんまの高付加価値化【H25.8～新船導入型】
- 20 宮城県沖底(沖合底びき網): グループ操業による漁場の有効利用及び付加価値向上【H24.9～既存船活用型】
- 21 新おおつち(定置網): 船団縮小、周年操業、氷倉を備えた網船の導入【H24.9～既存・新船導入型】
- 22 銚子(大中まき): 船団縮小(3→2隻)、小型鮮魚パックの導入等【新船・既存船型】
- 23 遠洋かつお一本釣り(東・中日本): グループ操業、燃油消費量の削減、魚艙の設備改良等【H25.3～既存船型】
- 24 遠洋かつお一本釣り(気仙沼②): S-1製品の製造、燃油消費量の削減等【H25.2～既存船型】
- 25 全国遠洋まぐろ(気仙沼): 年2航海操業、労働環境の改善、次世代型冷凍システムの導入等【新船型】
- 26 大船渡②(さんま): LED漁灯の導入、漁獲物の船上箱詰め等【H25.8～新船型】
- 27 石巻(沖底・小底): 低コスト操業と高付加価値化【H25.2～新船型】
- 28 千葉(中まき): 船団縮小(7→5隻)、船型の改革による省コスト化、コンテナバックの導入【新船型】
- 29 宮古・釜石②(沖合底びき網): 省エネ型新船、省人・省力化、高付加価値化【新船型】
- 30 三陸やまだ(定置網): 構成船のスリム化によるコスト削減、高鮮度漁獲物の供給【H25.4～新船型】
- 31 八戸③(大中まき): 活魚、鮮魚、凍結魚の搬送可能な運搬船の導入等【新船型】
- 32 仙台湾(刺し網): マサバ刺し網から釣りへの転換、活魚出荷等【H25.10～既存船型】
- 33 田野畑(定置網): 網規模縮小によるコスト削減、定員削減等【新船型】

※赤字は操業が開始されている計画

【全体計画(マスタープラン)認定状況】(計2件)

- 1 北部太平洋海区大中小型まき網漁業復興計画【大中小型まき網】
- 18 全国さんま棒受網漁業復興計画【さんま棒受網】



○ 地域漁業復興プロジェクト	17件
○ 個別計画	31件
○ 全体計画	2件